

## 事務事業評価調書

事務事業名	少年自然の家施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室少年自然の家	室課長名	藤本 一久

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和55年度	改正内容	平成27年度において、吹田市立少年自然の家条例施行規則第3条及び第4条の改正（使用者別使用申込期間の拡充）を行う。											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立少年自然の家条例・吹田市立少年自然の家条例施行規則の一部改正													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	小学校及び中学校の児童及び生徒、青少年団体の構成員、青少年教育の指導者等、研修プログラムに沿って自主的な活動を行う1家族以上或いは2人以上の団体											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年の社会性や協調性を養い、自然に関する意識の向上を図る。												
(7) 事業概要	学校、青少年団体、少人数グループ、家族、環境サークル等の少年自然の家利用者に対して、野外活動の場や生涯学習の場を提供するためにハード及びソフト面の条件整備を行う。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	06	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		49,392	47,956	59,792	56,273	68,479							
	人件費	職員数	人	2.85	2.85	2.85	2.85	2.85						
		総額(B)	千円	23,804	22,912	23,285	22,516	22,949						
	総事業費(A+B)		73,196	70,868	83,077	78,789	91,428							
	特定財源(C)		2,174	2,868	2,535	2,663	2,816							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	2,174	2,868	2,535	2,663	2,816							
	市負担(D)		71,022	68,000	80,542	76,126	88,612							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		71,022	68,000	80,542	76,126	88,612								
財源計(C+D)		73,196	70,868	83,077	78,789	91,428								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	総合建物管理(株)										
			②	ネポン(株)大阪営業所										
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③	ヒラカワ(株)										
			①	警備業務・清掃業務他										
②														
<input type="checkbox"/> その他	内容	③												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 利用人数	目標値	(単位:人)	23,000.00	23,000.00	0.00
			実績値	(単位:人)	21,120.00	20,944.00	
			達成度(%)		91.8	91.1	
		目標値の積算方法	利用人数×利用日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.36	3.80
				一般財源(単位:千円)	3.22	3.67	
	②	指標内容 利用率	目標値	(単位:%)	77.00	79.00	0.00
			実績値	(単位:%)	78.30	78.50	
			達成度(%)		101.7	99.4	
目標値の積算方法		開所日に対する利用日数の割合	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	905.08	1,013.48	
			一般財源(単位:千円)	868.45	979.55		
(2) 成果指標	①	指標内容 利用人数	目標値	(単位:人)	23,000.00	23,000.00	0.00
			実績値	(単位:人)	21,120.00	20,944.00	
			達成度(%)		91.8	91.1	
		目標値の積算方法	利用人数×利用日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.36	3.80
				一般財源(単位:千円)	3.22	3.67	
	②	指標内容 利用率	目標値	(単位:%)	77.00	79.00	0.00
			実績値	(単位:%)	78.30	78.50	
			達成度(%)		101.7	99.4	
目標値の積算方法		開所日に対する利用日数の割合	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	905.08	1,013.48	
			一般財源(単位:千円)	868.45	979.55		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>使用申込み期間の拡充、利用人数等利用要件の緩和、休所日の臨時開所等柔軟な施設運営、施設の特性を活用した自然観察会の開催、自然観察指導の推進及びホームページを活用した様々な取り組みの紹介や施設の予約状況等の情報発信等により、年間の利用率は平成27年度を0.2%上回ることができた。新たな取り組みとしては、吹田市内の学校訪問による学校利用の促進、施設のPRと新たなプログラム提供を目的とした「びわ湖高島観光協会」との連携など、利用者の増加と施設の有効活用に向けた取り組みを行いました。</p> <p>従前から利用者の方々から好評を得ている自炊やテント設営等野外活動の直接指導、宿直制度、緊急時の病院搬送及び安全な給食提供等の取り組みは今後も継続し、利用者の方から「また利用したい。」「一度利用してみたい。」と感じていただける施設を目指します。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	少年自然の家	事業名	少年自然の家施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	1105				

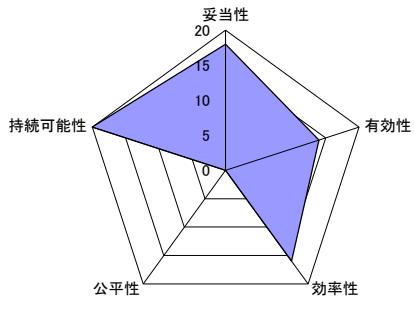
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	少年自然の家	事務事業番号	1105
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>使用申請期間の拡充、利用人数等利用要件の緩和、ホームページを活用した情報発信、休所日の臨時開所等柔軟な施設運営及び、びわ湖高島観光協会との連携による施設のPRなどの取り組みを行い、施設の有効活用に取り組みました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	森林体験事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室少年自然の家	室課長名	藤本 一久

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成15年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等														
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	50							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市小学5年生から中学3年生												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	青少年期から「自然環境」を保全することの重要性について理解を深めることができる人を育成する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	「自然環境」について、真剣な考え方が構築できる。												
(7) 事業概要	日常生活と繋がりのある「森林」が今どようになっているのか、今後この森林を守り育てていくには何が必要かを、吹田市と繋がりのある高島市朽木地域の森林で、樹木の間伐、皮むきなどの体験や林業を専門にされている方の講義を通じて学ぶ。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	06	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		396	339	335	267	275							
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05							
		総額(B)	千円	418	402	409	396							
	総事業費(A+B)		814	741	744	663	678							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		814	741	744	663							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
		一般財源		814	741	744	663							
財源計(C+D)		814	741	744	663	678								
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	申込人数	目標値 (単位:人)	30.00	30.00	/
			実績値 (単位:人)	18.00	18.00		
		達成度(%)		60.0	60.0		
	目標値の積算方法	申込人数÷募集人数(30人)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	41.17	37.56	/
			一般財源(単位:千円)	41.17	37.56		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/
実績値 (単位:)				0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	/	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	申込人数	目標値 (単位:人)	30.00	30.00
	実績値 (単位:人)			18.00	18.00		
	達成度(%)		60.0	60.0			
	目標値の積算方法	申込人数÷募集人数(160人)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	41.17	37.56	/
			一般財源(単位:千円)	41.17	37.56		
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/	
実績値 (単位:)			0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	/		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>樹木の間伐や皮むき等の森林体験作業の経験、林業を専門にされている方の講義等により、なぜ森林保全が必要なのかや保全作業の大変さ、重要性等を学ぶことが出来ました。特に、林業の専門家の方との話では積極的に質問をする姿があり参加者の興味や関心を高めました。しかし、募集人数が30人に対し18人の参加となり、学校行事等との調整を行い中学生の参加者を増やすことが今後の課題であります。1回の事業の参加で森林保全に対する考え方や姿勢が変化することは考えにくいですが、本事業での経験がきっかけとなり、将来環境保全の分野に興味を持ってもらえることを望みます。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	少年自然の家	事業名	森林体験事業	事業区分	その他
事務事業番号	1106				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	少年自然の家	事務事業番号	1106
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、吹田市と繋がりのある「びわ湖の水」、その源である高島市朽木地区の森林保全の重要性を、樹木の間伐作業や林業の専門家の講義など直接的な体験を通じて学ぶ事業で、参加者にとっては貴重な体験であると認識しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	吹田市・高島市少年キャンプ大会事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室少年自然の家	室課長名	藤本 一久

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和55年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等														
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	50							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市(90人)及び高島市(60人)の小学4年生から中学3年生												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	参加者同志の交流を深め、青少年の健全育成を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年の交流を図ることにより、両市の交流が深まる。												
(7) 事業概要	少年自然の家が開所した昭和55年(1980年)から続けている事業で、2泊3日の宿泊生活や様々なプログラム体験を通じて、施設のロゴガンである「発見・冒険・挑戦」の精神を培い、吹田市と高島市の子どもたちの交流を深めることを目的として実施する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	06	大事業	03	中事業	01	小事業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		519	400	502	428	444							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10							
		総額(B)	千円	836	804	817	790							
	総事業費(A+B)		1,355	1,204	1,319	1,218	1,250							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		1,355	1,204	1,319	1,218							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
		一般財源		1,355	1,204	1,319	1,218							
財源計(C+D)		1,355	1,204	1,319	1,218	1,250								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	募集人数	目標値	(単位:人)	150.00	150.00	150.00
			実績値	(単位:人)	119.00	140.00	
			達成度(%)		79.3	93.3	
	目標値の積算方法	申込人数÷募集人数(160人)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		10.12	8.89
				一般財源(単位:千円)		10.12	8.89
			達成度(%)		0.0	0.0	
(2) 成果指標	①	申込人数	目標値	(単位:人)	150.00	150.00	0.00
			実績値	(単位:人)	119.00	140.00	
			達成度(%)		79.3	93.3	
	目標値の積算方法	申込人数÷募集人数(160人)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		10.12	8.89
				一般財源(単位:千円)		10.12	8.89
			達成度(%)		0.0	0.0	
(3) が困難な場合	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
			達成度(%)		0.0	0.0	
①	活動内容				目標		
	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>本事業は、施設が開所した昭和55年(1980年)から続いている事業で、2泊3日の宿泊生活や様々なプログラムを通じ、「発見・冒険・挑戦」の精神を養い、お互いの交流を深めることが出来ました。今回の事業には身体及び知的障害児の参加者があったが、保護者との十分な事前調整と看護師及びリーダーのサポートで問題なく活動することが出来た。</p> <p>本事業の成果は、参加者の成長と共に現れるもので数値だけでは単純に評価しにくいですが、この事業がきっかけとなり、参加者同志の交流が継続されることを望む。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	少年自然の家	事業名	吹田市・高島市少年キャンプ大会事業	事業区分	その他
事務事業番号	1107				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	少年自然の家	事務事業番号	1107
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3)現状分析	<p>本事業は、フレンドシップ協定を結ぶ高島市との交流事業で、昭和55年(1980年)の施設のオープン時から開催しており、両市の交流の維持・促進や施設に隣接している陸上自衛隊饗庭野演習場での日米共同訓練の情報提供など、行政全体の連携を図るためにも重要な役割を担っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	少年自然の家改修計画事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室少年自然の家	室課長名	藤本 一久

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成8年度	改正内容	無					
(2)	直近の改正	無							
(3)	根拠法令等	吹田市立少年自然の家条例							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 40				
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	少年自然の家の風呂用ろ過機						
		目標(どういう状態にしたいのか)	施設・設備の長寿命化とレジオネラ菌対応による安心・安全な教育施設。						
	結果(どのような効果が得られるのか)	宿泊施設として必要な入浴設備の改修工事を、出来るだけ利用者に不便をせずに、最小限の臨時休所期間で行うことが出来た。							
(7)	事業概要	昭和55年(1980年)から使用している風呂用ろ過機を、レジオネラ菌対応が可能で、ろ過機能が向上したろ過機に改修する。なお、平成28年度施設管理事業内工事請負費で予算措置される。また、非常用発電機改修及び屋外西便所屋根改修工事は平成29年度施設管理事業内工事請負費で予算措置される。							
(8)	H28事業別予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	享和設備(株)				
				②					
				③					
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
②									
③									
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 実施計画及び当初予算で、改修事業の実施及び事業費を計上する。	目標値	(単位:無)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:無)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 無	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	従前から取り組んできた改修項目であり、今後も利用者に不便をかけることなく、安心・安全に施設を利用していただくため、資産経営室と連携し、優先的に改修の必要な設備となるよう取り組んだ。		目標	レジオネラ菌対応の風呂用ろ過機の設置。	
	②	成果内容	短期間の休館日で、余り利用者に不便をかけることなく改修することが出来た。また、レジオネラ菌対策も可能で、利用者にとっては安心・安全な施設となった。		達成状況	今回は当初の要望通りの改修工事を行うことが出来た。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本施設は、昭和55年(1980年)のオープン以来37年が経過し、施設・設備に老朽化が生じている。これまで、年次計画的にトイレの簡易水洗化工事、耐震改修工事、外壁の塗り替え工事、冷暖房設備の改修工事、玄関前のバリアフリー工事、野外食堂の建設工事を実施してきたが、平成20年度以降改修工事は中断していたが、今年度宿泊施設として必要な入浴設備のろ過機の改修工事を実施することが出来た。また今回の設備は、自動的に塩素を注入しレジオネラ菌に対応できるシステムであり、安心・安全な青少年の宿泊施設となった。</p> <p>今後も、施設・設備の長寿命化を図るため、資産経営室と連携し年次計画的に改修工事を行う必要があると考えている。</p>				

# 事務事業分析シート

所属名	少年自然の家	事業名	少年自然の家改修計画事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	1352				

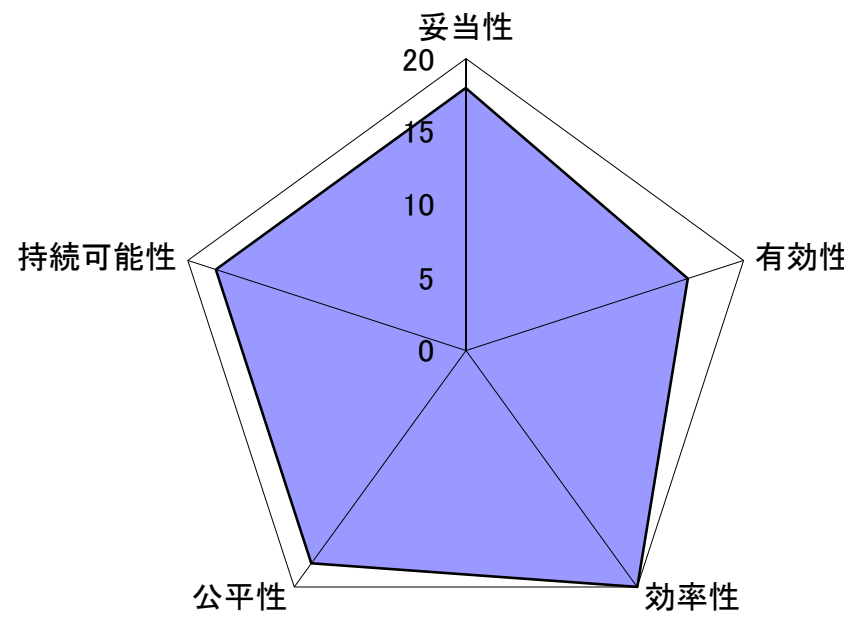
## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>90</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	少年自然の家	事務事業番号	1352
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公共施設の最適化推進委員会で、従前から要求していた風呂用ろ過機の改修工事が優先度の高い改修項目に選定され、改修予算も計上され改修工事を実施することが出来た。今後は年次的な改修計画に基づき改修工事を行っていきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	自然観察会事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室少年自然の家	室課長名	藤本 一久

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成24年度	改正 内容						
(2)	直近の改正								
(3)	根拠法令等								
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	50	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	一般市民、保育園・幼稚園園児						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	季節を通じ日頃、体験できない自然との素晴らしい出会いを五感を使って観察することにより自然に関心を持ってもらう。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	この事業をきっかけに自然に関心を深めてもらうことにより、自然観察会以外での利用促進につなげることを目指す。							
(7)	事業概要	自然の家の自然環境を十分に活用し、季節を通じて、体験できない自然との出会いを五感を使って観察する。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 募集人数(一般公募)	目標値	(単位:人)	120.00	120.00	/
			実績値	(単位:人)	148.00	113.00	
			達成度(%)		123.3	94.2	
	目標値の積算方法 申込人数÷募集人数(一般公募)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 申込人数(一般公募)	目標値	(単位:人)	120.00	120.00	/
			実績値	(単位:人)	148.00	113.00	
			達成度(%)		123.3	94.2	
	目標値の積算方法 申込人数÷募集人数一般公募)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	吹田市内及び高島市内の保育園・幼稚園に自然観察会に関するPR用のちらしの送付などを行いました。		目標	高島市内だけでなく、吹田市内からの参加を目標としました。	
	②	成果内容	高島市内の保育園等から14園の参加があり、保育士からの高い評価と平日の利用促進を図ることが出来た。		達成状況	参加された園からは、好印象を得ることができました。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>一般市民を対象とした事業では、施設周辺や高島市内の自然環境を題材に四季の特徴を活かした観察会を行いました。参加者は家族単位が多く、自炊やテントでの宿泊など幅広い活動を楽しんでいました。本事業はリピーターも多く、今後も多くの市民にPRしていきます。</p> <p>保育園・幼稚園児を対象とした事業は、見る観察から触って感じ取る観察を行い、保育士から高い評価を頂き平日の利用促進も図ることが出来ました。今後は、吹田市内に広めることが課題と考えています。</p>				

事務事業分析シート

所属名	少年自然の家	事業名	自然観察会事業	事業区分	その他
事務事業番号	1353				

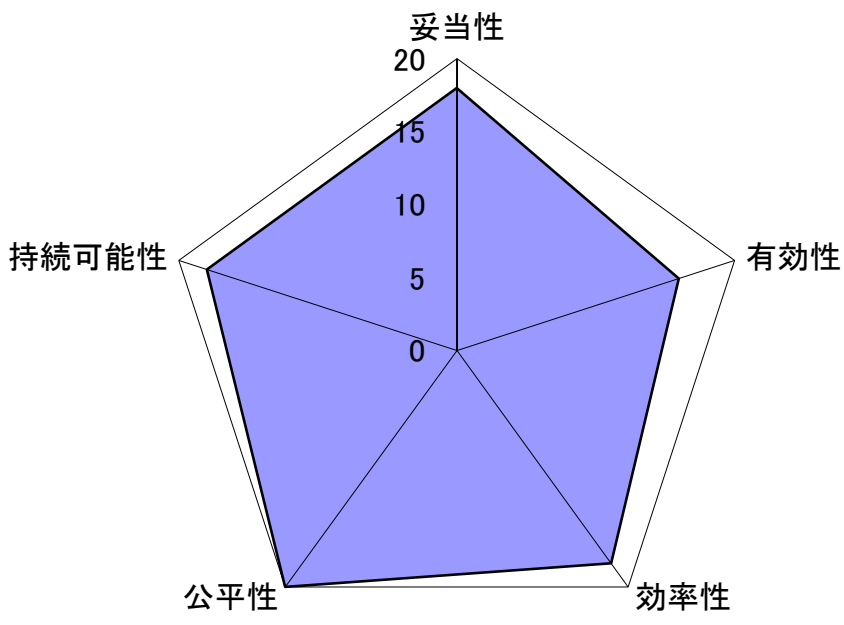
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	少年自然の家	事務事業番号	1353
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、施設の立地条件や自然環境を活用した事業で、一般市民や保育園児を対象に18回開催し、施設の良さを知っていただいた。また、学校など一般利用の団体に対しても、自然体験学習指導員が中心となって自然観察指導を積極的に提案し、34団体からの依頼に応えることが出来た。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)